

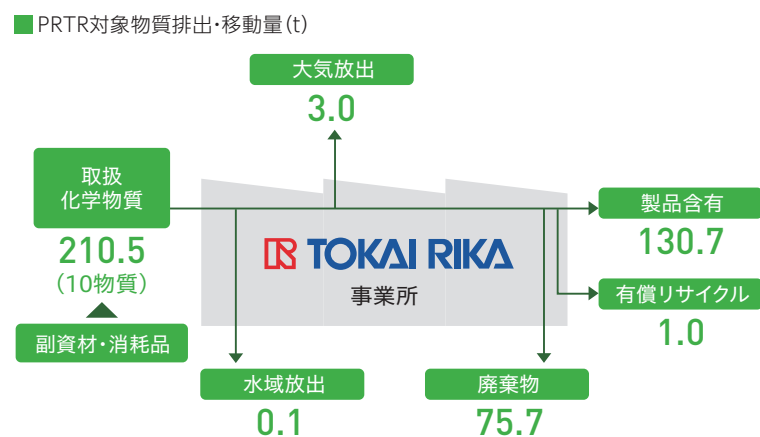
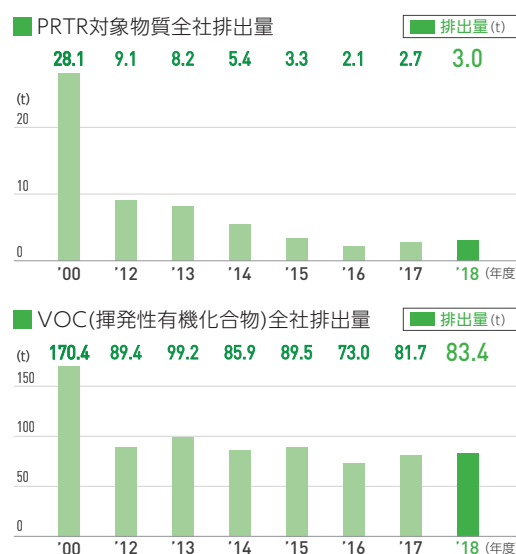


自然共生社会の構築

国内外において化学物質管理の規制強化や法整備が進んでいます。東海理化グループでは、これらの国際動向に対応していくとともに、製品開発と生産工程づくりの両面で環境負荷物質の低減を推進しています。また、生物多様性保全の活動や地域への貢献活動を通じて、自然と共生する社会の実現に向けた取り組みを展開しています。

生産活動における環境負荷物質の低減

人や環境へのリスクを最小にしていくため、材料の切替や塗装工程改善など、環境負荷の高いVOC(揮発性有機化合物)やPRTR対象物質の低減に取り組んでいます。



◎ スマートキー解除フックの低VOC材への切替

スマートキーに内蔵されているメカニカルキーを取り出す解除フックにおいて、従来材と比べ、VOC発生量が大幅に少ない低VOC材に変更しました。環境負荷の低減だけでなく、作業環境の改善にも貢献しています。

ホルムアルデヒド発生量
93%低減



◎ 塗料変更による有機溶剤使用量の低減

シフトレバーのカバー部分にはP(パーキング)、N(ニュートラル)などのインジケーター文字を明瞭に発光させる為に、周囲を遮光性塗料で塗装しています。従来より遮光性の高い塗料に切替えることで、遮光性を維持したまま薄膜化が可能になり、有機溶剤の使用量を低減することができました。また、塗布時間の短縮により、ロボットの使用電力を低減し、CO₂の低減にも貢献しています。



製品含有化学物質管理の充実

東海理化グループでは、化学物質規制の各国動向を把握し、設計・開発の段階から製品含有化学物質に配慮した取り組みを行っています。

規制状況	2015	2016	2017	2018
グローバル	●GHS 第6版		●GHS 第7版 ●水俣条約発効	●M.R.3(VIAQ)制定
欧州	●EU RoHS2指令施行 ●EU REACH規則 SVHC (第19次まで:計191物質) 要認可物質 (第5次まで:計43物質) 制限物質 (エントリ72まで) ●EU REACH規則EU BPR規則 ●EU CLP規則(混合物の分類・ラベリング開始)	●EU ELV指令 Annex II 改正	●RoHS2指令改正 ●EU ELV 指令 Annex II 改正	
北米	●各州法制定・改正 ●米 カリフォルニア州 グリーンケミストリー法 ●カナダ 水銀含有製品規則 ●カナダ HPR ●米 HCS/OSHA (混合物の分類・ラベリング)	●米 TSCA改正 ●カナダ 2012年特定有害物質禁止規則		●2012年特定有害物質禁止規則改正規則
アジア	●中国 新化学物質環境管理弁法 ●韓国版 REACH ●韓国 改正WEEE/RoHS/ELV規則 ●中国 GB/T30512-2014 ●インド AIS-129		●日本 水銀汚染防止法施行	●インドPOPs規則

◎ フタル酸エステルの切替え推進

REACH規制の対象物質を含まない製品へ、切替えを進めています。パワーウィンドウスイッチ類では、規制対象のフタル酸エステルを含有するゴム部品の切換えを、欧州向け製品だけでなく、自主的に国内向け製品にも実施しました。



自然共生社会の構築に資する社会貢献活動の推進

「自然・地域と共生する企業をめざす」を経営理念に掲げ、地域への継続的な貢献活動を通じて、周辺環境を保護する取り組みを進めています。

◎ 地域清掃活動

本社・音羽・萩工場では、地域行政との協働活動であるアダプトプログラムに登録して継続的に工場周辺の清掃を実施し、豊田工場では、豊田大橋付近にある千石公園の清掃を実施しています。また、本社近くを流れる、桜並木で有名な五条川では、桜の開花前に合わせて、毎年3月に、社員とその家族が参加するクリーンアップ活動を実施しています。

Voice

アダプトプログラムに参加し始めた当初は、ゴミの量が多く、時間内に拾いきれない程でしたが、回数を重ねるにつれ、ゴミの量が目に見えて減り、私たちの活動が大口町の美化に貢献できていることを実感しています。

大口品管部 掛布 司子 さん



▶ 自然共生社会の構築

環境保全・生物多様性保全の推進

持続可能で自然と共生する社会をめざして、生物多様性の取り組み指針を定め、東海理化グループ全体で活動を推進しています。

■ 生物多様性の取り組み指針

指針	実施事項
① 社会と連携し自然を育む	- 地域やオールトヨタとの協働による多様性を育む社会づくり - 啓発による社員の意識高揚と行動の促進
② 自然にやさしい技術の導入	軽量化・リサイクル配慮設計、化学物質管理

指針	実施事項
③ 自然と共生する事業活動の推進	水域保全、CO₂低減、資源循環、環境負荷物質低減
④ 積極的な情報の開示	取り組み内容の発信

● 植樹活動のグローバル展開

植樹活動を環境や生物多様性保全に貢献する活動と位置づけ、地域やNGOと連携し、グローバルで活動を進めています。社員自らが、工場の敷地内へ在来種やシンボルツリーを植樹し、自然とのふれあいを通じて、環境に対する意識の向上を図っています。



TRMN(インド)



TRP(フィリピン)



TRCZ(チェコ)

topics

地域貢献に繋がる生物多様性の取り組み

2016年よりオールトヨタ各社との連携活動である「オールトヨタ自然共生ワーキンググループ」に参画しています。2018年度は、行政や関連企業が実施している、みよし市のオオキンケイギクの駆除活動に当社およびグループ会社から14名が参加しました。

また、各工場やグループ会社では、地域の団体や行

政が主催する湿地や里山の保全活動に積極的に参加しています。ラムサール条約に登録されている豊田市の矢並湿地では、年に2回の清掃活動に参加し、希少な植物や昆虫の保全に貢献しています。名古屋市の戸田川緑地では、樹木の間伐や補植、岡崎市のおおだの森では、支障木の伐採や散策路の整備を行いました。



オオキンケイギク駆除活動



矢並湿地保全活動



とだがわの森感謝祭



おおだの森 里山保全活動

Voice

おおだの森の保全活動に、初めて参加しましたが、急な斜面を登り、ノコギリやなたで下草を伐採する作業は大変でした。ですが、おおだの森は近隣で一番高い位置にあり、見晴らしの良い景色をみると疲れが和らぎ、とても良い経験ができました。作業後には、参加された方々とのふれあいもあり、充実した時間を過ごすことができました。次回もぜひ参加したいと思います。



理化精機 藤森 和也 さん